

令和7年度 学校経営計画

岡山県立笠岡工業高等学校

○本校の使命、存在意義

新学習指導要領の方向性を踏まえ、基礎学力の定着、専門的な知識や技能の向上を図りつつ、主体的・対話的で深い学びを重視する中で、STEAM教育や課題解決学習を展開することにより、思考力・判断力・表現力を育成する。
これらを推進することで、将来を見据えた行動力があり、社会の変化に柔軟に対応できる創造力豊かな「人財」や地方創生を支える「人財」を育成することで、地域とともに発展する工業高校を目指す。

○本校の目指す姿

生徒一人一人が大切にされ、笠工生としての自信と誇りを身に付けさせる。

【「人財」育成】

○社会人としてのマナーや確かな職業観・勤労観を持ち、意欲的で我慢強さや責任感を身に付けた「人財」を育成する。

【学力向上】

○基礎的な学力と教養を身に付けるとともに、豊かな専門的な知識や技術・技能を有する「人財」を育成する。

【地域との連携】

○地域社会のニーズや保護者の期待に応え、地域との連携を密にして、より一層開かれた学校づくりを推進する。

【魅力的な学校づくり】

○再編整備 PT での新校の検討を進め、学習環境を有効に活用し、全ての教職員が自己の資質向上、専門性の深化に努め、生徒にとって魅力的な学校づくりを推進する。

○令和7年度教育活動

現状分析

【「人財」育成】

- 多様な支援が必要な生徒が入学している。
- 遅刻者数が増加している。
- 部活動の加入率が減少している。

【学力向上】

- 基礎力診断テストが学年を追うごとに下がる傾向にある。
- 学習習慣や意欲が十分ではない生徒もいる。
- ジュニアマイスター等の受賞者数が少ない。

【地域との連携】

- 一斉挨拶運動、出前授業、笠工テクノ工房等を通して、本校に対する理解が進んでいる。
- 就職指導では、売り手市場だが、よりよい進路保障について不断の努力が必要である。

【魅力的な学校づくり】

- 積極的な広報活動は行っているが、募集定員の確保に繋がっていない。
- 専門科棟の Wi-Fi 環境等、学習環境が整っていないところもある。

本年度の教育重点

【「人財」育成】

- 個を大切にしている指導、SC・S SW等 校外専門家の有効活用
- 規範意識の向上、基本的生活習慣の確立
- 部活動の活性化・効率化

【学力向上】

- 基礎学力の向上、学習環境の整備
- ICTの有効活用を通した考える楽しさ、わかる喜び、主体的に学ぶ授業実践
- 高度な国家資格等への積極的な挑戦

【地域との連携】

- 市内県立3校や地元企業、福山大学との連携推進
- 笠工テクノ工房、ボランティア活動等の推進
- キャリア教育・進路指導の推進

【魅力的な学校づくり】

- ものづくり教育のさらなる推進
- 広報活動のさらなる推進
- Wi-Fi 環境等 ICT 教育環境の整備
- 再編整備 PT での新校の検討